

登録No. S-081

登録名 Tri-HER/Tri-DOC療法

催吐性リスク 軽度

適応疾患 乳癌

投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	トラスツズマブ 生食	初回8mg/kg 2回目以降6mg/kg 250mL/body		d1	d.i.v.	初回90minで忍容性 良好であれば2回目 以降30minまで短縮 可	初回は投与後生食ロックし1 時間経過観察。忍容性良好な ら2回目以降30分まで短縮し 経過観察。
Rp.2	デキサメタゾン 生食	6.6mg/body 50mL/body		d1	d.i.v.	30min	
Rp.3	ドセタキセル 生食	60mg/m <sup>2</sup> 250mL/body	75mg/m <sup>2</sup>	d1	d.i.v.	60min	粘調度高いため、輸液総量の 1.5倍量をDrip-eyeに設定

1クールの間 3週間

その他

(副作用・PS規定等)

HER副作用： 心毒性

DOC副作用： 骨髄抑制、悪心・嘔吐、脱毛、HFS、末梢神経障害

HER原則禁忌： 重篤な心障害のある患者

HER投与時： infusion reactionが見られた場合は投与中止。

(再開時期について特に規定は無いが臨床症状をよくみて軽度なら継続投与可。)

infusion reaction時、解熱鎮痛剤、抗ヒスタミン剤、重症時はO<sub>2</sub>投与、ステロイド

HER中止基準： Grade3以上のアレルギー反応、アナフィラキシー反応、infusion reaction

※HERは投与予定日より1週間を超えて投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。